

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 8. 7

下水道機構の『新技術情報』 第295号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

先週は下水道展へご来場いただきました皆様どうもありがとうございました。ブースではメルマガ読者の方にもお声かけいただきとても嬉しかったです！来年は北九州でお会いしましょう！さて、週末から台風5号が猛威を振るっています。台風対策で現場の対応に当たられる方もいらっしゃるかと思います。どうぞお気をつけて作業をされてください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第295号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・「下水道展 '17 東京」下水道機構ブースへのご来場ありがとうございました！

■機構の動き

・今週は、8/9(水)に下水道BCP策定マニュアル改訂検討委員会を開催します

■Tea Break

・バレーボール(資源循環研究部 ペンネーム ぼちさんからの投稿です)

■本日のゆいまーるは、8/1~4に開催された下水道展 '17 東京の様子をお届けします！

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

・今週は更新がありません

■国からの情報

・8/4付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

●「下水道展 '17 東京」下水道機構ブースへのご来場ありがとうございました！

8/1（火）～4（金）までの4日間、下水道、くらしを支え、未来を拓く「下水道展 '17 東京」が東京ビッグサイトで開催されました。本機構は、ブースを設置し、パネル、リーフレット、動画等にて研究成果や審査証明技術の紹介を行いました。この間、多くの関係者の皆様に本機構のブースにお立ち寄りいただくとともに、熱心に展示をご覧いただきました。

また、8/1、2には出展者プレゼンテーションにて平成28年度に審査証明書を交付した技術について概要を紹介し、8/3には浸水対策に関するシンポジウム「安全・安心なまちづくりに向けた新たな浸水対策」を開催しました。こちらの両企画も大変多くの方々にご来場いただきました。

下水道展でご紹介しました当機構の研究成果、審査証明等が、今後の事業のご参考となれば幸いです。ご来場誠にありがとうございました。

。 。 ○ 。

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 ○ 。

●行 事：平成29年度第3回下水道BCP策定マニュアル改訂検討委員会

場 所：機構8階 特別会議室

日 時：平成29年8月4日（金） 16:00～17:30

案 件：「下水道BCP策定マニュアル改訂」について

○第66回下水道新技術セミナー「情報化社会における下水道」

【東京会場】日時：平成29年8月18日（金） 13:00～16:45（受付12:30～）

場 所：東京都港区 発明会館

【大阪会場】日時：平成29年8月25日（金） 13:00～16:45（受付12:30～）

場 所：大阪科学技術センター

【定員】東京会場250名、大阪会場250名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。 。 ○ 。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 ○ 。

●バレーボール（資源循環研究部 ペンネーム ぼちさんからの投稿です）

春に息子が中学生になり、バレー部に入ったのをきっかけに興味を持つことになりました。私が学生の頃とはルールや常識が変わり、色々と驚かされます。まず、中学生でもリベロ（守備専門のプレーヤー）がいること。6人制なこと。足を使ってもOKなこと。体力だけでなく頭脳も使うスポーツなこと。中学生でも背が高いこと。一番大きい先輩は184cmもあるそう。すごい。その先輩に憧れ、背を伸ばすべく牛乳を毎日飲み、日々ジャンプしている純粋な息子です（笑）

バレーは1895年アメリカ発祥のスポーツで、1910年に日本に入ってきたそうです。9人制のものは日本独自であり、6人制が普及している今でも「ママさんバレー」として残っています。1964年には女子バレーが東京オリンピックで「東洋の魔女」として脚光を浴び、それに伴って、「アタックNO.1」などのバレー漫画が流行ったとか。

スポーツの持つ力は凄いです。技術はもちろんのこと、心も成長させてくれます。仲間との信頼関係や先輩に対する敬意、人から教えて頂くという謙虚な心。一つのことと真面目に接する素直な態度。今までも、これからも考え続けていきたいものですね。

。○○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。○○。

●本日のゆいまーるは、8/1～4に開催された下水道展‘17東京の様子をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-8-7>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」の紹介

。○○。

国土交通省では、平成28年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。

アメッジ内の一部コンテンツにおいては、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要となります。新規登録は、以下のURLよりお願いします。

登録画面URL：

<http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.8.4付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

今週は下水道展もあり、上京された方も多かったのではないのでしょうか。下水道展では、多くの最新技術や研究発表、シンポジウム等に参加できることはもちろんですが、旧知の下水道関係者にお会いできるのも楽しみの一つだと思います。私はあいにく下水道展には行けませんでした。が、国交省にも多くの方がお見えなり、昨年までお世話になった岡山市の方、その前の金沢市の方をはじめ、たくさんの方にお会いすることができました。会場に比べればわずかではありますが、「下水道界」のつながりを感じた1週間でした。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○好評につき「げすいの窓口」の設置期間を2017年9月末まで延長（下水道企画課）

○「低炭素杯2018」エントリー募集開始！（低炭素杯事務局）

○8/18(金)@東京会場、8/25(金)@大阪会場にて第66回下水道新技術セミナーを開催します（日本下水道新技術機構）

=====

○好評につき「げすいの窓口」の設置期間を2017年9月末まで延長（下水道企画課）

下水道部では、持続可能な下水道事業の運営を行うため、コンセッション方式をはじめ、様々な官民連携事業（包括的民間委託・PFI・DBO等）の導入を推進しております。

今般、官民連携に関する相談・質問等を受けるための相談窓口「げすいの窓口」を2017年7月31日まで期間限定で設置しましたが、設置から1ヶ月で多くの方からご質問をいただきました。そのため、9月末まで設置期間を延長致します。

地方公共団体の方々（役職等問わず）を対象にしており、今更聞けないということやこれってどうなっているの、どうやって進めたらいいのなど、様々な質問等にお答え致します。相談については、下記問い合わせ先にメールもしくは電話（極力メールでお願い致します）でご連絡下さい。

ご連絡いただく際には所属団体、御名前、後連絡先を合わせてご教示下さい。できる限り速やかに回答させていただきます。些細なことでも構いませんのでご連絡お待ちしております。

◆質問・相談例

- ・コンセッション方式ってどういう仕組み
- ・管路の包括的民間委託ってどういう事例があるの

- ・官民連携を検討するための補助制度はあるの
- ・具体的な官民連携の事例を教えてほしい などなど

◆お問い合わせ先

下水道部下水道企画課 梅井

TEL : (03) 5253-8111 (内線 34115)

E-mail : umei-t2e5@mlit.go.jp

◆ホームページ

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/mizukokudo_sewera tk_000518.html

○「低炭素杯2018」エントリー募集開始！（低炭素杯事務局）

多様な主体が取り組む地球温暖化防止に関する活動について、その取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出する場として、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を競う「低炭素杯」が例年開催されています。

今年2月に開催された「低炭素杯2017」では、佐賀市上下水道局下水プロジェクト推進部の【昔に帰る未来型～佐賀市下水浄化センターを「宝を生む施設」に～】が環境大臣賞グランプリを受賞しました。

この度、来年2月15日に開催される「低炭素杯2018」のエントリー募集を開始しましたので、お知らせします。

■募集〆切り：2017年9月12日（火）15：00

■対象者：低炭素社会づくり活動や地球温暖化防止に取り組む団体

■募集部門：市民部門、企業部門、学生部門（高校生以上の取組）、ジュニア・キッズ部門（中学生以下の取組）

応募条件など詳細は以下のホームページをご覧ください。

<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>

積極的なご応募をお待ちしております。

○8/18(金)@東京会場、8/25(金)@大阪会場にて第66回下水道新技術セミナーを開催します（日本下水道新技術機構）

（公益財団法人）日本下水道新技術機構では、地方公共団体等官公庁、民間企業及び関係団体の下水道技術者を対象に、下水道技術の向上を目的として、最新の下水道技術を取り上げ課題解消に向けて知見を深めるため、定期的にセミナーを開催しています。

第66回目の開催となる今回は、『情報化社会における下水道』をテーマに、東洋大学の花木教授、電気通信大学の新教授をはじめ、国・地方公共団体から多数の講師をお招きして、情報化社会における最新の下水道技術や取り組み事例などご講演頂きます。

是非ご参加いただき、今後の下水道事業の参考としていただきたいと思います。

【東京会場】

日時：平成 29 年 8 月 18 日（金） 13：00～16：45

場所：発明会館（東京都港区虎ノ門 2-9-14）

【大阪会場】

日時：平成 29 年 8 月 25 日（金） 13：00～16：45

場所：大阪科学技術センター大ホール（大阪市西区靱本町 1-8-4）

※第 66 回新技術セミナーのプログラム及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar>

みなさまのご参加お待ちしております！

=====

【参考情報】

◆マンホールのふた売ります 前橋市使用済みで全国初 <8/2 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201708/CK2017080202000169.html>

◆日本アジアグループ、下水道管路の点検から改築計画までの支援サービスを開始 <8/3 日経 BP>

http://business.nikkeibp.co.jp/atclemf/15/238719/080302712/?s_cid=bpn_TI

◆マンホールカードに中津川市版登場 <8/3 岐阜新聞 Web>

http://www.gifu-np.co.jp/news/kennai/20170803/201708030858_30185.shtml

◆マンホールカード、川崎市で無料配布 下水道をPR <7/31 朝日新聞 DIGITAL>

<http://www.asahi.com/articles/ASK7C5RH9K7CUL0B016.html>

◆豊橋市、国内最大の複合バイオガス発電、メガソーラー併設 <7/26 メガソーラービジネス>

<http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/news/16/072508501/?ST=msb>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
